

第7回地域づくり交流会

■昭島防犯協会■

平成24年12月17日(月)16時00分
市役所205会議室

■防犯協会)

石川文吉 会長、加島幸義 副会長、小林秋雄 副会長、
指田廣一 副会長、佐藤良三 副会長、原茂富明 副会長、
青木喜久平 総務部長 7名

■自治連)【自治連】小野正敏 会長、嶽山俊夫 副会
長、宮田次朗 副会長、指田 準 副会長大野利男 会計、
畑山敏夫 常任委員、大越憲 常任委員
事務局 細谷 隆宏／7名 計14名

●小野 自治連会長の挨拶

本日は、お集まりいただきましてありがとうございます。交流会の日程調整で連絡が旨くいかずご迷惑をおかけしました。

いつも防犯協会の皆様には、いろいろとお世話になっていますが初めてオフィシャルな話し合いの場を持つことが出来ました。これからも年に1～2回この様な交流会をお願いできればと考えております。本日は宜しく願いいたします。

●参加者自己紹介

●昭島防犯協会の現状紹介…石川防犯協会会長

日頃、自治連のみなさんには大変ご支援・ご協力いただきまして、本当にありがとうございます。また、今日このような会を持っていただく事によって、私たちの防犯の活動に関してもご理解をいただけるものと思っております。

昭島防犯協会は上部組織の東京防犯協会連合会と連携を取り、活動を進めております。

まず組織ですが、名誉会長、会長、監事、相談役がいます。その会長もとに副会長と会計がいま

す。運営組織として、総務部、防犯部、青少年部、マンション等防犯部、女性部があります。女性部に本部付理事の女性部と女性防犯推進委員がいます。そして理事がいますが、支部長が兼務しています。そして防犯連絡所(防犯活動推進員)があります。

年間の主要事業は、次のようになっています。

①:振込み詐欺の被害防止・ひったくり防止キャンペーン活動の実施／毎月1～2回JR青梅線の各駅頭において本部役員女性防犯推進員と周辺支部の協力を得て実施しております。また、市内大型店にて万引き防止キャンペーン等を随時行なっております。



②:毎年7月上旬に多摩川の危険箇所の点検と立て看板の設置を行なっております。

③:青少年健全育成の推進として、少年野球大会を主催しています。今年で63回になります。

④:恒例の昭島くじら祭りに参加し、警備と防犯活動及び青少年の非行防止の啓発活動と、防犯キャンペーン活動を実施しています。

⑤:地域安全運動期間中、街頭での啓発活動と広報車により各種犯罪の被害防止の呼び掛けを実施しております。

⑥:青少年フェスティバルに参加し、市民会館・公民館場内の警備と振込め詐欺、ひったくり被害防止等の防犯啓発活動を実施しております。

⑦:長寿社会対策として、市労連の誕生日会での防犯活動を実施。高齢者が犯罪に遭わないための防犯啓発活動と長寿の激励を行っております。

⑧:高齢者の社会参加活動の促進する為の一環と

して、昭島警察署長杯争奪ゲートボール大会の協力をし、振込み詐欺とひったくり被害防止の啓発活動を行っております。21回実施。

⑨：女性防犯推進研修会の開催。講演及びビデオ上映会を行っています。



⑩：支部活動として、各支部独自に“防犯広報”や夏期及び年末の夜間中心に“防犯パトロール”を実施しています。

⑪：各支部単位に、随時“防犯座談会”を支部の会員の協力を得て実施しています。その際、昭島警察署より署員が出向き、市内の犯罪発生状況との説明及び防犯防止対策についての講演及び防犯ビデオの上映を行っております。

⑫：支部の特性を生かした防犯活動の推進をしていくように支部で検討しています。

⑬：環境浄化活動として、落書き消去活動を少年野球チームの協力を得て松原立体で実施。

⑭：西武鉄道とJR昭島各駅長参加し、駅構内における万引きや不法違反を防止する防犯会議を開催しました。

その他に、昭島市青少年協議会に出席し青少年の健全育成について協議しています。

また、社会を明るくする運動実施委員会で毎年7月に実施する青梅線各駅頭での社会を明るくする運動に参加し、啓発活動を行っています。

それから、昭島市薬物等乱用防止協議会に参加し、啓発活動を通じて薬物乱用防止に努める活動等、以上が防犯協会の主な活動です。以上でございます。

●自治連の現状紹介……………小野 自治連会長

昭島市の自治会連合会は現在、99の自治会からなっています。それを地域別に20のブロックにわけています。自治会連合会の中には4つの委員会を設けております。総務委員会、それから事業委員会、防災委員会、広報委員会と4

つの委員会でございます。

今後、自治連としても“防災隣組の構築”を推進していきたいと思っています。これは向こう三軒両隣で“防犯”と基本的には同じで災害があった場合に4世帯から7世帯ぐらいの単位で1つの班として、その中で助け合っていく組織形態です。今、モデル地域として3つを上げてスタートしている最中でございます。この結果を見ながら全市に展開していきたいと思ひますし、来年はこの防災隣組の構築の展開に力を入れてやっていきたいと思ひます。

自治連として平成24年は3回の防災講演会を実施しました。2月に防災システム研究所所長の山村武彦氏に「自主防災組織はイザの時の為に、平常時に何をなすべきか」のテーマで、近助の精神が地域の絆のキーワードであるとし、防災隣組の必要性を学びました。山村先生は、防災隣組の提唱者でもあります。

7月に「立川断層って危ないのか？地震を知り正しく恐れよう」をテーマに、首都大学東京の山崎



晴雄教授の講演で、『昭島は地盤が良好で地震に強い。家具転倒防止対策と火災対応が最も重要』でした。

10月には、防災都市計画研究所の吉川忠寛所長より「多摩直下地震に備える 自助・共助の課題」として最後に『自助を啓発する共助が大切！』とのアドバイスをいただきました。

自治連としても、年間計画を月別に立てて推進しております。

防災面で防災隣組の構築と、もう一つの重点課題は、3日間生き延びるための準備を各家庭でやって下さいということです。防災の基本は自助です。自分たちでやらないと公助はまず期待出来ませんという基本的な考え方を進めております。

その為の防災パンフレットを 10 月に 38,000 部作成し、自治会員の家庭と市内の小学校・中学校の生徒全員に配りました。

先ほどの、防災講演会やパンフレット作製費等の費用も東京都の地域の底力再生事業助成制度を活用しての事業で、東京都の助成金を使っている色々な事業を進めているのが現状でございます。以上でございます。



<参加者の意見交>

●防犯協会) 東京防災隣組の認定制度について、ある新聞に都内に 7,000 ある自主防災組織の中で認定されたのは 36 団体で、認定後の活動について問題提起された記事が載っていました。

●自治連) その通りです。そこで昭島としても、これから取り組むわけですから、慎重かつ大胆に推進が必要と考えております。

●自治連) 東京都が 5 月に都庁で認定式を実施し 7 月に認定した団体を集めて懇談会を実施し、11 月に都庁で「東京防災隣組シンポジウム」が開催されました。参加してきましたが先ほどの山村武彦氏が司会進行をされていました。

現時点の認定は、これまで防災について積極的に茅降り組んできた地域や団体を認定しているというのが現状ですね。

●自治連) 昭島市としては、第一回の認定で“自治会連合会第4ブロック地区自治会が社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会昭和郷”と合同認定を受けました。(第4ブロックの皆様→)

●防犯協会) 自治会長を 13 年前にさせていただいていたのですが、加入率が 40 パーセントとお聞きしましたが、私の地域でも相当減っていますね。どうにかして歯止めをしなければいけないと思っています。私が子供の時は、向こう三軒両隣で隣のおばさんが煮物を持ってきて「これ出来たから食べて」という関係でしたね。震災があった時、発災した時に誰が面倒見てくれるか心

配になります。やはり“近所や隣”しかないですね。

●防犯協会) アパートやマンション等の集合住宅の皆様自治会加入をどう進めるかが大きな課題だと思います。自治連の役員の皆様で知恵を出し合って、1 日も早く自治会の会員の増強、是非お願いしたいと思います。

●自治連) 加入率に関しては、全国的な傾向ですね。かせめて 7 割ぐらいにはしたいですね。マンションの場合は、計画段階で建設会社や販売会社にアプローチすることがポイントです。その対応で、加入を促進できた事例もあります。逆に早期対応ができなかった場合は、入居後いろいろと対策を打っていますがいまだに自治会の発足が出来ていません。

●防犯協会) 自治会で年 4 回ぐらいの共同募金がありますが、班長になると歳末助け合いなどの募金の集金があるのがいやで自治会員をやめる方もいますね。それと高齢化で地域行事にも参加するのが嫌だという事なのですかね。

●防犯協会) 配布物とか集金に行っても、なかなか会えないのが嫌だという事で自治会をやめていく方がいるのです。だからそこらへんも 1 つの歯止めとして自治会としても考えていただいた方がいいんじゃないかと思います。



●自治連) 自治会運営ハンドブックの小冊子を作成して自治会長の皆様に配布しています。11 月に第 2 版を作成しました。自治会長も多くの方が 1・2 年で交代しています。自治会の事がやっとわかったらどんどん変わっていくのが現状

なので、この冊子を熟読していただければ何かのヒントが見えてくるような内容にしています。

●防犯協会)私は拝島で榊祭とか神社のいろいろなことをやっていますが、防犯面で自治会と一緒に引ったくり防止をはじめ警備の意味で防犯パトロールを地域で実施し歩いています。

近所にアパートが5軒建っていますが、だれも自治会に入っていない。防犯面でも心配ですが、防災のことを考えれば、加入世帯を増やしていかないといけないでしょうね。火災もそうですが、災害があった場合に誰が面倒見るのかを考えると、隣近所が大事ですね。

●自治連)自治会の中でも、防犯協会に入っていない自治会もあるようですね。

●防犯協会)はい、防犯協会に加入していない地域がいくつかあります。防犯協会の支部はイコール自治会ではありません。自治会がいくつかで支部を組織している場合が多いですね。中神や福島地域が未加入の地域でしょうか。

●自治連)具体的に、防犯協会に入っていない自治会を教えてください。自治連としても協力できる場合もあると思います。

会費は確か年間1世帯48円ですよ。

●防犯協会)はい、自治会の会員の場合は一般会員です。一一般48円です。会員には、一般会員と賛助会員があります。警察署と防犯協会と一緒に何かやりましょうという時にしても、防犯協会のない地域は、情報が伝わらないので活動も一緒に出来ないという事もあります。

7つの自治会が1支部の地域もあります。

また、支部として防犯座談会やパトロールをやる際は、本部に連絡していただきたい。その際は本部としても応援したいと思っています。

●自治連)防犯連絡所が市内に591箇所ありますが、よく見ますが縦長の看板がありますね。

●防犯協会)看板は玄関に貼っていただいています。年に1回、講習会を実施しその修了証書を渡すと同時に防犯連絡所の札を渡しています。

●防犯協会)今日のような話し合いを既存の昭島

市の会議たとえば、昭島市安全安心まちづくり推進協議会とかで議論すべきではないかと思えます。

●自治連)皆様に現在の小学校と中学校の校区割の図面をご覧ください。その下に自治会の区割りの地図を載せております。〔最終裏面を参照〕

●自治連)現状の区割りを見ても、複雑な構造になっています。地域性にもよりますが、今後、小学校が2校統合されるとの計画もあるようです。校区も見直されています。小学校の区割りは、自治会にとっても大きく影響してきます。



●防犯協会)小学校の統合の話は初めて聞きますが、自治会としても大変ですね。

●自治連)はい、自治連としては、現在ブロックが20ありますが、ブロック別運動会を実施していますが、小学校の関係で要望も多く出ていますので、数年内にはブロックの見直しが必要と認識しています。来年度の検討事項でしょう。

●自治連)年に1回は、防犯協会と話し合う場を今後とも持ったほうがいいと思いました。防犯、防災は自治会としても、安全安心の面からは大事な問題です。

●自治連)そうですね。自治会としては本日ご指摘をいただきましたが、加入率を上げることにしても、総力を挙げなければいけないですね。

いつか来る大震災に対して、その際の自治会の役割をもっとPRして、若い世代やお年寄りの皆さんにわかっていただけるような活動をしたいですね。

災害時は、何処の避難所に行くのか?の確認や、避難所の運営のことも詰めていかなければいけません。11月の行政との地域懇談会の際、避難所別運営協議会の早期設置の提案をしました。

●防犯協会)自治会に加入するきっかけをどう作るかですね。ハザードマップが昭島市で作って配布されていますし、各避難所を含めて市の備蓄品

がどうなっているのか、よく解っていないですね。備蓄品の対応は、どちらにしても足りないです。

●自治連) そうです。3日分は自分で用意するのが原則なのです。それしかないと思います。吉川先生の話の『自助を啓発する共助が大切!』です。自治会に未加入の方の多くが、何かあったときは役所に任しておけばいい!とよく言われるのです。

●防犯協会) やはり、周りの人間の協力が一番大事なことなのですが、なかなか理解していただけないのが現実ですね。

●自治連) 近助! 近くで助けあう人間関係を平常時から作っておかないと、災害時には何もできないと思います。

●自治連) 防災・減災の取組みは大変であります。今やらないとタイミングを逃してしまうと思います。

●防犯協会) 共助の立場からみれば、住民の温度差でかみ合わないことが多く出ると思います。

難しい問題ですが、自治連としても良いアイデアを取り入れていただきたいと思います。自治連と自治会が連携を取って対応できればありがたいし、安全安心の体制が出来上がると思います。その関係の中で防犯協会も共々に、防犯活動の更なる発展と活動の輪を広げていきたいと思ひます

■終わりにあつたて

本日は貴重なご意見有難うございました。

これもちまして、昭島市の地域7団体との第1回目の地域づくり懇談会を終わることが出来ました。私ども昭島市自治会連合会の活動に対するアドバイスやサジェションをいただき有難うございました。

今回は安全・安心まちづくりの防災について話し合わせていただきましたが、これからも地域7団体と連携を取りながら自助・共助によるまちづくりを進めて参りたいと思ひます。

昭島市自治会連合会 会長 小野正敏

